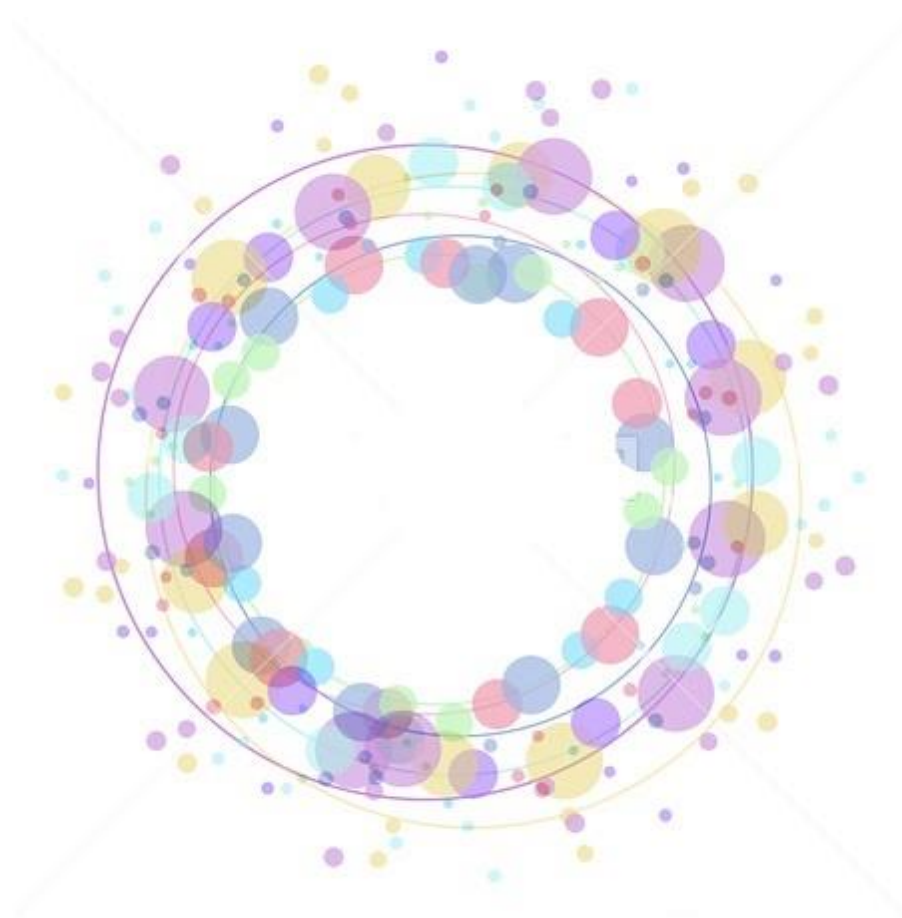


# 平成 30 年度 事業計画

ひとりの不幸も見逃さない町づくりをめざして・・・



社会福祉法人 森町社会福祉協議会

# 基本方針

---

現在の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、社会的孤立、経済的困窮、地域でのコミュニティ機能低下など、多くの課題を抱え、人々の福祉に対するニーズは益々複雑、多様化してきています。

このような中、国においては、高齢者や障がい者、子ども等を分け隔てなく、包括的・総合的に支援する仕組みを構築することを目的に「新たな福祉ビジョン」が取りまとめられ、ニッポン一億総活躍プランにおいて「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現が提唱されました。

支え手側と受け手側に分けられるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みづくりが求められています。

特に、住民同士の「ささえあい」の核となるのは「町内会」です。小地域ネットワーク活動が今後も広く展開されるよう町内会と協働した社協活動を推進してまいります。また、社協ならではのネットワークと専門性を生かし、他のサービス主体では提供できない福祉サービスを担うことで、地域住民とも結びついた福祉サービスの提供を行ってまいります。

貧困世帯や独居老人、障がい者の地域生活のサポート体制として、昨年同様、第二のセーフティーネットである生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業、生活福祉資金並びに社協独自の応急貸付制度である愛情銀行を活用しながら支援を進めてまいります。

「ふれあいサロン」は幅広い住民に周知され、住民同士のつながりが醸成され、また、介護予防の一助を担っています。今年度も継続し、町民の「ふれあい」の機会作りとなるよう取り組んでまいります。

また、行政、福祉、保健、教育などの関係機関、団体との連携を図り「住みながら地域で誰もが安心して暮らす」ことのできる地域福祉の実現をめざし、諸事業の遂行に努めてまいります。

# 事業計画

---

## 1. 地域福祉活動の推進

### ①小地域ネットワーク活動事業の推進

高齢者・障害者世帯の見守り活動や援助活動はもちろん、地域住民の交流、支え合い活動など幅広い福祉活動に援助いたします。

- ・前年度の納めた社協一般会費の40%を地域福祉活動費として町内会へ助成します。
- ・地域の先駆的な取り組みを発掘・応援し、福祉を推進する活動や実践を広げます。

### ②住民への啓蒙

社会福祉活動についての理解を深め、地域住民の福祉意識の向上を図り、広報紙『そよかぜ』を年4回発行し全戸配布します。

また、地域の福祉活動を多く取り上げ、親しみのある広報紙作成に努めます。

### ③共同募金事業の推進と団体の育成

共同募金の大きな特徴は、地域福祉推進のための募金と助成が一体となったしくみであり、募金事業の理解を深め、広く住民の協働と活動奉仕員の拡充に努め、森町共同募金委員会の育成と事業の推進に努めます。

### ④ボランティア活動の普及とボランティア団体の育成

地域におけるボランティアの需要が多様化する中で、ボランティア団体の育成と各方面におけるボランティアの発掘と活動要請に努めます。

今年度においては、高齢者の歩行機能と認知機能の改善効果が期待できる「ふまねっと」運動を推進し、定期的な教室の開催とサポーター養成を行います。また、町民向け傾聴セミナーを開催し、傾聴の意義を捉え傾聴ボランティアの養成を促します。

### ⑤森町ボランティアセンターの推進

ボランティア活動を推進するための活動拠点として各種ボランティア団体の育成、相談、連絡調整、情報の提供を行います。

- ・ボランティア養成及びスキルアップ研修会を開催
- ・中高生ボランティアスクールの開催
- ・ふまねっと教室の定期開催
- ・ボランティア団体と福祉施設・福祉団体等との連絡調整
- ・ボランティア保険の手続き
- ・ボランティアに必要な情報、資料の収集、提供

#### ⑥心身障害者（児）・精神保健福祉対策と団体との連携

地域住民の障害者（児）に対する理解を深め、森町身体障害者福祉協会及び森町手をつなぐ育成会・さくら会・サポーターさくら・チェリーサークル等への協力援助に努めます。

#### ⑦相談事業の推進

- ・総合相談窓口の常設  
（福祉サービスの情報提供・生活一般の相談など）
- ・相談内容に応じた関係機関との連携

#### ⑧老人福祉対策と団体との連携

地域住民の高齢者に対する理解を深め、森町老人クラブ連合会及び森町町内会連合会等への協力援助に努めます。

## 2. 受託事業の推進

- ①森町交流支援センター（サロン）事業
- ②森町老人クラブ連合会
- ③森町身体障害者福祉協会
- ④森町手をつなぐ育成会

## 3. 「ふれあいサロン」と介護予防・地域支援事業の推進

ふれあいサロンは毎月1回開催されます。高齢者や障害者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に、誰でも気軽に参加できるサロンづくりに努めます。また、地域間交流促進のため「出前サロン」の取り組みも推進します。また、地域単位でのサロン活動への協力支援に努めます。

今年度から行政が主体となり実施される地域支援事業（生活支援サービス）の体制づくりに積極的に参画し、社協が進めてきた見守り支援、ふれあいサロン事業等を生かした新たなサービスの創出に行政と協働してまいります。

#### 4. 生活福祉資金等の利用促進と生活困窮者自立支援事業の推進

低所得世帯、障害者、高齢者等生活問題の解決のために生活福祉資金や愛情銀行の利用を促します。また、必要に応じて生活困窮者自立支援事業制度を活用した支援を実施します。改正社会福祉法の公益的取り組みとして、今年度より北海道社会福祉協議会が実施主体となる「生活困窮者等に対する安心サポート事業」へ参画し、制度の狭間にある生活困窮者の自立支援に努めます。

##### ※生活福祉資金

北海道社協の貸付資金制度・修学資金等の受付事務

##### ※愛情銀行（応急生活資金）

社協独自の貸付資金制度（低所得者世帯のつなぎ資金）

上限＝通常3万円（無利子）

##### ※生活困窮者自立支援事業

生活福祉資金や愛情銀行等の相談対応から必要に応じて北海道社会福祉協議会への連絡調整を行い、円滑な制度活用を図る。

##### ※生活困窮者等に対する安心サポート事業（法人の公益的取り組み）

制度の狭間にある生活困窮者の自立支援への繋ぎとして、相談支援事業、経済的援助事業を実施。

##### ・経済的援助事業の概要

既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にあり、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、概ね3万円を限度とした経済的援助を現物給付で行う。

#### 5. 日常生活自立支援事業の推進

高齢や障害により日常生活を送る上での判断に不安のある方を対象に、生活費の管理、書類等の預かりなどを定期的に行う福祉サービス。町内には潜在的に多数の利用希望者がいることが予想されることより関係機関とも協

かし、一人でも多くの方にサービスが提供されるよう円滑な事業運営に努めます。

## 6. 森町交流支援センター（憩いの森・あつまーれ）の推進

子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れるサロンの運営。また、介護予防、生きがい活動の視点から一般町民、福祉団体・各種団体等の利用の促進を図ります。

## 7. 心身障がい者のつどい「ふれあいの森」交流事業

今年度で6回目となる「ふれあいの森」交流事業は、心身障がい者等の6団体（約100名）の方が交流と親睦を深める集いであり、障がい者の理解と地域の中で互いに助け合い、支え合っていくことを目的とする交流事業であります。今年度も行政機関や福祉団体の協力を得ながら運営を推進します。

## 8. 小型除雪機貸出事業の推進

自力で除雪を行う事が困難な高齢者や障害者世帯に対し、地域の除雪ボランティアを実施する団体や町民有志に無償で小型除雪機を貸出します。（使用料は無料。ただし、燃料費、保険料1人350円は使用者負担とします。）

## 9. 福祉車両（軽四トラック）貸出事業の推進

各種団体や町内会の各種事業に活用されるよう、無料で軽四トラックを貸し出します。

（使用料は無料。ただし、燃料費は使用者負担とします。）

## 10. 灯籠設置事業

町民の方がお亡くなりになった際、町内の葬儀社3社【(有)伊端造花店・(有)松閣園・(有)ひらた葬祭】のご協力・ご厚意により、葬儀に灯籠をお供えします。

## 1 1. 福祉用具の無料貸出

町内会・老人クラブ・ボランティア団体等での各種行事等に活用できる用具を貸出します。

※貸出用具・・・車いす・車いす用スロープ・レクリエーション用具  
（バグゲーゲーム・グラウンドゴルフセット・輪投げサイコロ・スカットボール他）その他、プロジェクター・音響機器など

